

高等部 進路決定までの手順

学年	時期	生徒・保護者に関する活動等		ポイント
第1学年	4	※職場見学・集中作業学習・各種作業能力検査等は類型別に実施		親の会主催で開催します。 基本的な事業所の情報を具体的にお伝えします。お時間に都合をつけて是非、ご参加ください。
	5			
	6			
	7	五色台キャンプ（6月下旬）		生徒個々の、実習に挑もうとする決意を発表する場です。今後の流れについても説明します。3年間共通です。 （※報告会は実習終了後に実施します）
	8			
	9			
	10	現場実習Ⅰ（2週間） 集団実習（校内と校外を4日間ずつ）		基本的な進路に関する情報や、在学中に取り組む支援などについて、具体的にお伝えします。
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
第2学年	4	※職場見学・集中作業学習・各種作業能力検査等は類型別に実施		福祉サービス事業所を知る 長期休業中に見学・体験をお勧めします。 『百聞は一見にしかず』です。実際の事業所の雰囲気を知り、情報を集めましょう。 ※訪問する際の注意点 見学→保護者が直接連絡 体験→学校に連絡し学校から日程調整
	5			
	6	現場実習Ⅱ（2週間） 集団実習		
	7			生徒個々の「卒業後の進路」について、希望や情報等を確認します。大きく分けると、 ①企業就労を希望したい ②福祉就労を希望したい ③まだ…まとまらない、に分かれますが、 3年4月の「進路相談会」に繋ぐ為の重要な相談会です。
	8			
	9	修学旅行（9月下旬）		
	10	現場実習Ⅲ（3週間） 集団実習・個別実習		福祉サービス事業所説明会（6月）
	11			
	12			
	1			現場実習Ⅲ報告会 ※第3回進路希望調査配布 進路に関する研修会
	2			
	3	校内進路相談会（本人・保護者・学校） （1月下旬）		

学年	時期	生徒・保護者に関する活動等		ポイント
第3学年	4	※職場見学・集中作業学習・各種作業能力検査等は類型別に実施		福祉サービス利用者 誕生日前後
	5	進路相談会（4月）	「障害支援区分判定」（聞き取り） 福祉サービス利用希望者 進路相談会（4月第2週～）	「分かる」と「できる」を繋ぐ 現場実習Ⅳ→Ⅴを通して、具体的に『卒業後の生活』をイメージすることができます。 本人の「仕事・生活・余暇」のバランスを見つめると同時に、支える家庭や、取り巻く環境の課題や対策を探ります。
	6	現場実習Ⅳ（3週間） 個別実習 ※家庭を基点とした実習	企業就労希望者 進路相談会（4月第3週）	
	7	進路相談会 ※該当者のみ	現場実習Ⅳ激励会 現場実習Ⅳ報告会	
	8		現場実習Ⅴ激励会	
	9	現場実習Ⅴ（4週間） 個別実習 ※就職試験にあたる実習	企業求人票内容確認 （11月下旬～随時）	個人指定の求人票を確認していただきます。同意が得られた場合は、契約が成立します。 内定が出なかった場合は、現場実習Ⅵを設定します。
	10	福祉サービス利用希望者 進路相談会（12月上旬）※最終確認・手続き		本人・保護者の希望や実習の評価等を関係者（市町福祉課、相談支援員他）で確認し、申請手続きをします。 家庭支援ネットについても検証します。
	11	現場実習Ⅵ ※進路先未決定者のみ実施	※日帰り研修 （2月下旬）	
	12	就職内定者説明会（2月下旬）		
	1	移行支援計画完成（本人・保護者・関係諸機関・学校）		関係機関（ハローワーク なかぼつ他）と求人票の内容確認など、最終的な情報共有をします。
	2	職業センター準備支援	受給者証発行・担当者会・利用契約	
	3	卒業式 3月		

